

12・10 講演会

講師 丹羽 宇一郎さん

(元中国大使)

演題 「東アジア平和共同体構築

と市民の役割」

日時 12月10日(土)

午後2時30分～5時

(開場午後2時15分)

会場 文京シビックセンター

スカイホール(26階南)

住所 東京都文京区春日1-16-21

東京メトロ丸の内線(4a・5番出口)・南北線(5番出口)後楽園駅

徒歩1分、都営地下鉄三田線・大江戸線春日駅(文京シビックセン

ター連絡口)徒歩1分、JR総武線水道橋駅(東口)徒歩9分

参加費
1000円

1972年の日中共同声明—
国交正常化から44年が経過しま
した。今、日中間には歴史認識、尖閣
諸島—東シナ海、南シナ海問題等をめぐ
って緊張・対立があります。政府レベルだけで
はなく、双方の市民の中にも無視し得ない反発、
不信が根づいています。中国からは毎年500万人
(台湾、香港を含めれば1000万人超)もの人
びとが日本を訪れます。それは日本の観光業、
小売業等を支えていると言っても過言ではありま
せん。他方、日本からは中国には2万を超える企業
が進出し、現地で1000万人以上を雇用しています。
両国は様々な分野で相互依存の関係にあるのです。

ただ、それだけでは対立・葛藤は解けません。9月、中国・杭州で開催されたG20首脳会談に合わせて習近平国家主席、安倍首相は会談を行いました。両首脳は「マイナスを減らしてプラスを増やしていこう」と確認しあいました。東シナ海での不測の事態を回避するための「海空連絡メカニズム」設置について年内合意をめざすことも合意しました。一歩前進です。ただ、歴史問題は手つかずのままです。日中が葛藤を超え、信頼を回復し、ともに東アジアの平和をつくっていくには何が必要なのでしょう。そこにおいて市民はどんな役割が果たせるでしょうか。初めて民間人で中国大使を務められた丹羽宇一郎さんに講演していただき、そのヒントを得ていきます。

年末のお忙しい時期ではありますが、ぜひご参加ください。(先着120名まで)

PROFILE (にわ・ういちろう)

1939年愛知県生まれ。62年名古屋大学法学部卒業後、伊藤忠商事入社。同社社長・会長、日本郵政株式会社取締役等を歴任。2010年6月から2012年12月まで中華人民共和国駐節特命全権大使を務め、同月から早稲田大学特命教授。現在、日中友好協会会長。グローバルビジネス学会会長。著書に『中国の大問題』2014(PHP新書)、『危機を突破する力 これからの日本人のための知恵』2015(角川新書)、『心 クリーン・オネストビューティフル』2016(毎日新聞出版)、『習近平はいったい何を考えているのか 新・中国の大問題』2016(PHP新書)

●主催

・朝鮮人強制労働被害者補償

立法をめざす日韓共同行動

(rippousuishin.blog.fc2.com/)

・NPO法人・コリアNGOセンター

●連絡・予約先(矢野) 090-2466-5184,

Mail qqq568d9k@extra.ocn.ne.jp

郵便振替口座番号 00140-1-322811

郵便振替口座名 立法推進日韓共同行動